

平成 28 年度 母屋・居宅部分発掘調査写真



1. 居宅礎石と書院

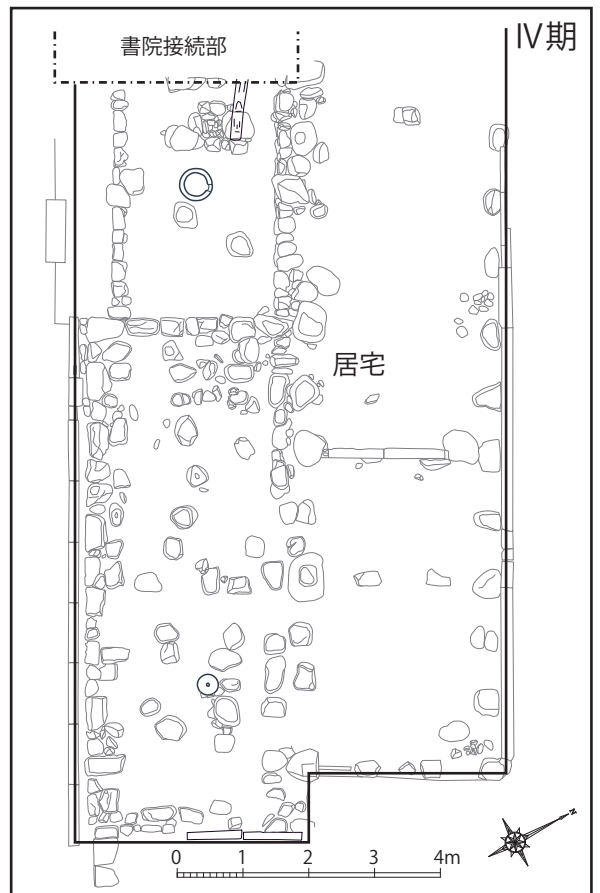
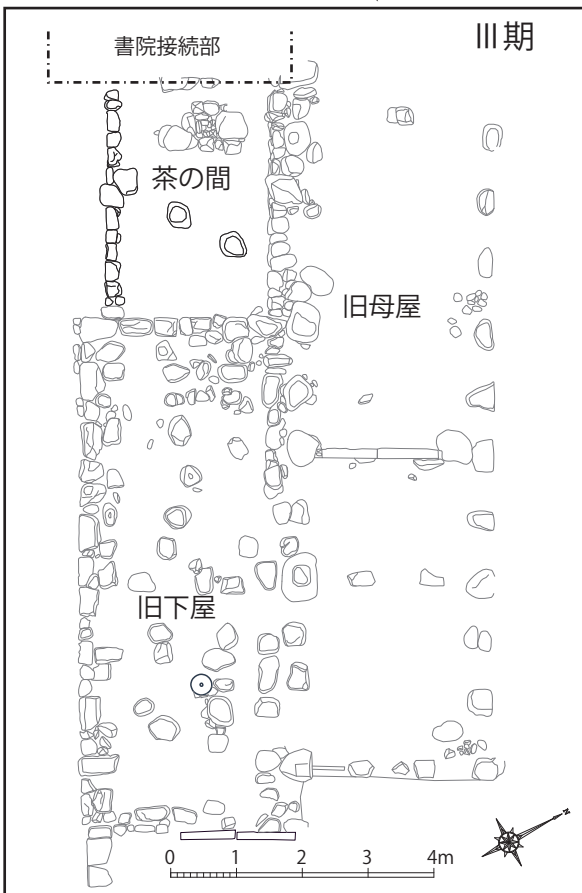
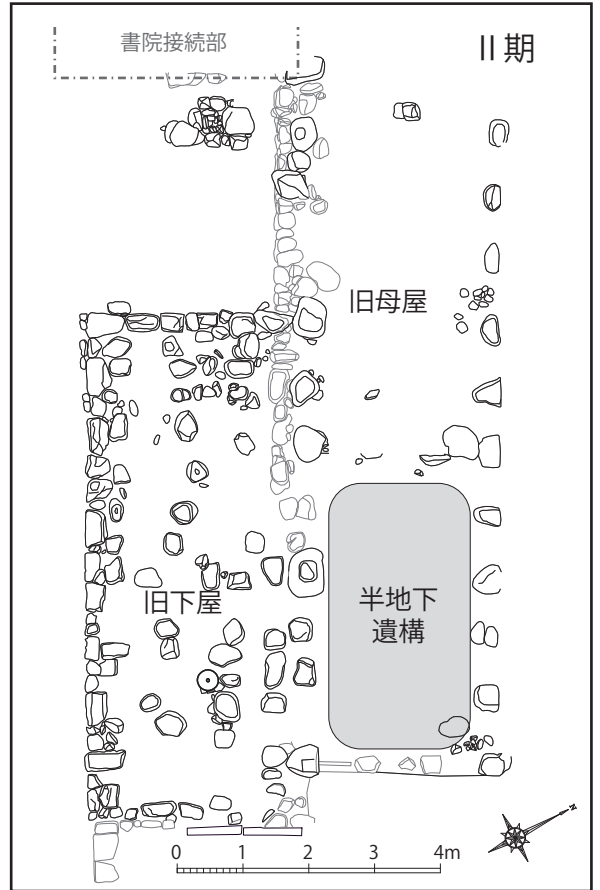
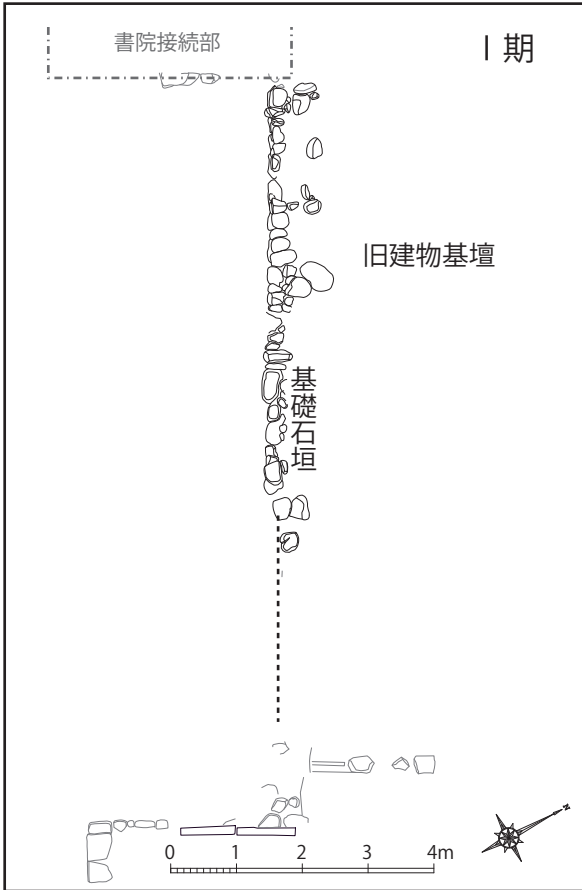


2. 旧建物基壇石垣検出状況



3. 旧建物基壇石垣検出状況

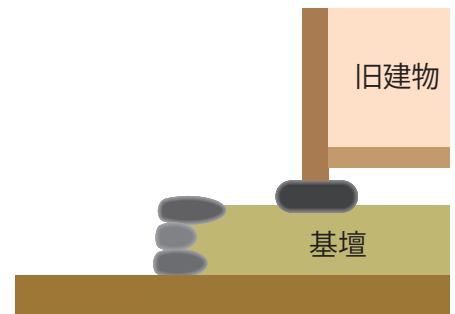
母屋・居宅部分時期別変遷平面図



## 平成 28 年度 母屋・居宅部分発掘調査成果概要図

### I 期 (江戸前期? : 17 世紀?)

石積みの内側に灰白褐色砂質土の基礎盛土を行い、  
その上に大型の礎石を配置する。

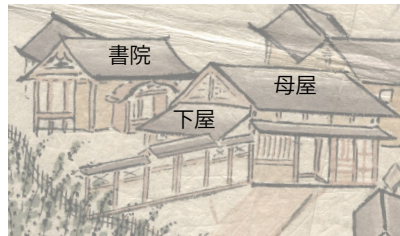


### II 期 (江戸前期? 貞享 4 年<1687 年>以降の絵図の時期)

母屋外周の礎石を石積み上のラインへ据え直す。

母屋入口側に半地下の施設  
を作る。

ほぼ同時期に、下屋部分  
を川砂が主体の客土で埋め、  
壁立ちの下屋を建築する。



貞享 4 年以降の屋敷絵図

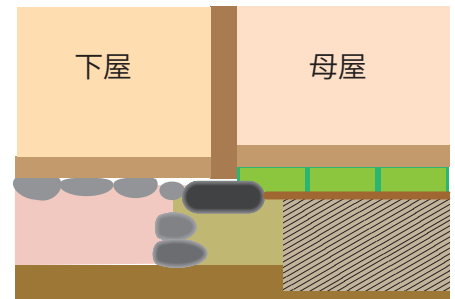


### III 期 (江戸後期? 文政 3 年<1820 年>の再興時期か)

下屋部分の内、茶の間部分を川砂が主体の客土で埋め、  
書院と連続する下屋を建築する。

母屋部分の半地下室を埋め、土間に改造する。

土間タタキを施す。(※笏谷石の石列使用)

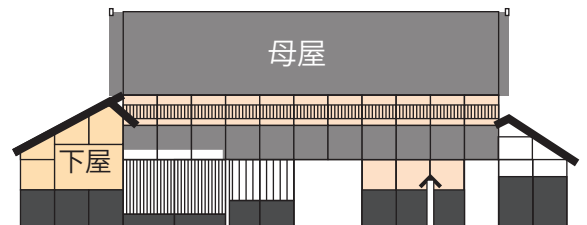


### IV-1 期 (明治 39 年<1906 年>以降)

下屋の茶の間部分に床を作る。

この時まで下屋を 1/4 間拡張する。

(※笏谷石の石列使用)



### IV-2 期 (昭和 31 年<1956 年>以降)

雪で母屋が倒壊する。

残った下屋を拡張し居宅にする。

